統合データベース講習会:AJACS番町3 - jPOST の使い方 -

情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 ライフサイエンス統合データベースセンター 守屋 勇樹 moriya@dbcls.rois.ac.jp

2019/08/07 JST

講習会の流れ

今回の講習会では、ウェブブラウザを使って jPOSTdb の操作を行うことで、データベースの使い方を練習していきます

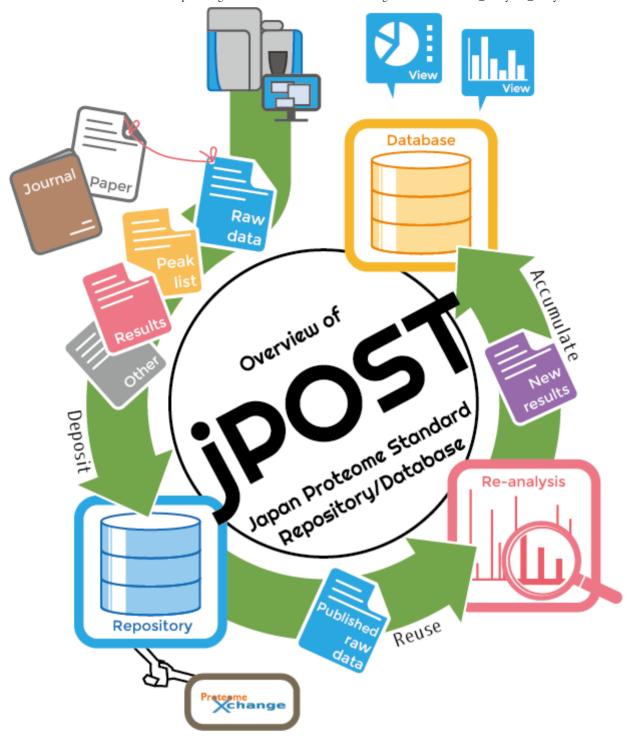
- 概要
 - 。 iPOSTdbの概要
 - データのしぼりこみ
 - 。 データセットページの概要
 - タンパク質ページの概要
 - 。 Slice(データセットグループ)を作成してみる
 - 。 2つのSliceを比較してみる

講習に際しての注意とお願い

- みんなで同じ回線を使って同時にアクセスするとサイトにつながりにくくなることが予想されます。
 - ・ 資料を見ながら自力で進められそうな方はどんどん先に、そうでない方は一緒にすすめていきましょう。
 - サイトの反応が悪い時はタイミングをずらして実行してみてください。
 - 。 反応が無いからと言って何度もクリックするとますます繋がらなくなってしまいます。おおらかな気持ちで 臨みましょう。
- わからないことがあったら挙手にてスタッフにお知らせください。
 - 遠慮は無用です(そのための講習会です!)。おいてけぼりは楽しくありません。
- 今回のコースでは一応Google Chromeを推奨しますが、Firefox、Safari、Edge、Operaなどのモダンブラウザでも問題ないと思います。動かなかったら今後の課題に加えますので教えて下さい。ただしInternet Explorerは古すぎるので動作を保証していません。モバイル機器での操作。動作も一部未対応です。

jPOSTdbとは

jPOSTdbは質量分析に基づくプロテオームデータを"再解析"をし、その結果を収録したデータベースです。



jPOSTrepに登録したデータを直接見れるわけではありません。

jPOSTdbの特徴

- データセット毎にプロテオームデータを俯瞰できます
 - 。 Missing Protein探索やKEGG Pathwayへのマッピングができます
- タンパク質毎に同定されたペプチドやPTM、isoformの情報を見ることができます
- 興味のあるデータセット複数を切り出して、データを俯瞰できます(Slice)
- 簡易的なツールを用いてSlice間の比較を行うことができます

jPOSTdb webサイト

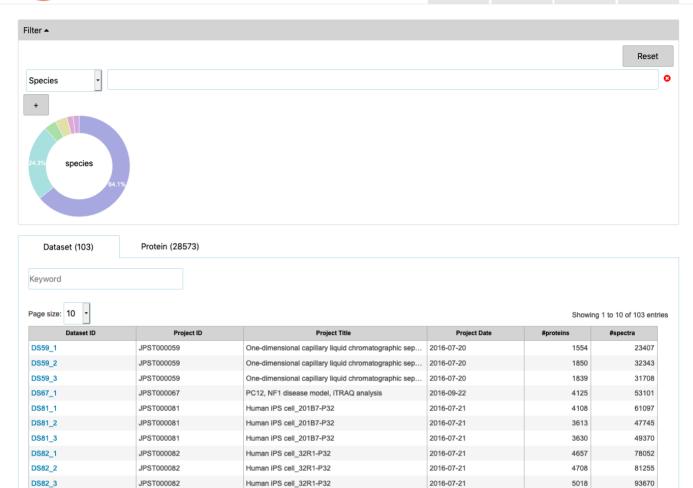


Q Search Slice

Compare

« < 1 2 3 4 5 6 7 > »

? Help



Topページ

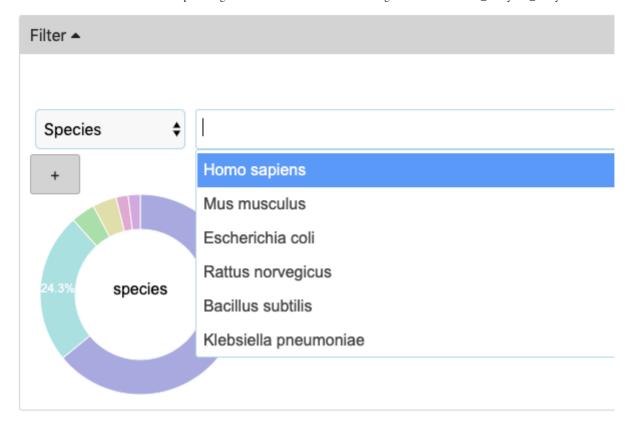
Page: 1

New Slice...

- 最初に、データベースに入っているデータセットの生物種の割合を示したチャートが出ます
 - マウスカーソルをホバーさせることで、詳細が表示されます
- 。 下にはデータセットのリストテーブルが表示されます
 - 2019/8/7時点で103データセットが収録されています
 - "DS59_1" というのがjPOSTdbでのデータセットのIDになっています
- 上のpie chartのある部分はデータセットの絞り込みを行うフォームになっています

データセットを絞り込んでみよう

- 例えばhumanで絞りこみをしてみましょう
 - テキストエリアをクリックすると候補が表示されます。クリックで選択されます
 - 。 pie chartをクリックすることでも選択できます



- テーブルのリストが66データセット、14,620タンパク質に減りました
- 生物種以外に、Sample type、Cell line、Organ、Disease、Mofdification、Instrumentで絞り込みが行なえます
- "+" ボタンをクリックすることで、複数のカテゴリで絞り込みを行うことができます

データセットを検索してみよう

- 一旦全部の絞り込みを外しましょう
- テーブルの上にワード検索Boxがあります。キーワードに関連したデータセットが検索されます
 - 。 データがまだ少ないので、今回は"fibroblast"で検索します



Dataset (9) Protein (5711)

fibroblast

Page size: 10 ♦

Dataset ID	Project ID	Project Title
DS87_1	JPST000087	Human Fibroblast cell_aHDF1388-
DS87_2	JPST000087	Human Fibroblast cell_aHDF1388-
DS87_3	JPST000087	Human Fibroblast cell_aHDF1388-
DS88_1	JPST000088	Human Fibroblast cell_aHDF1419-
DS88_2	JPST000088	Human Fibroblast cell_aHDF1419-

• 9つのデータセットが引っかかり、5,711タンパク質が収録されていました

データセットの中身を見ていこう

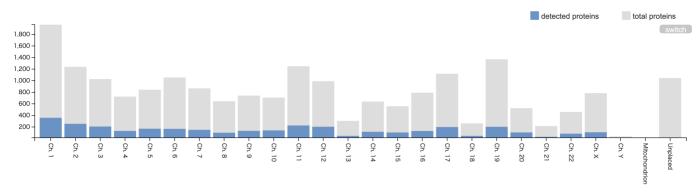
• テーブルの "DS87 1" をクリックしてデータセットDS87 1の中身を表示しましょう

Dataset: DS87_1

Project ID	JPST000087	3 datasets	
Project title	Human Fibroblast cell_aHŪ	DF1388-P9	
Project description	Proteome analyses of human fibroblast cell line (aHDF1388-P9) were carried out using a two-meter monolithic silica C18 capillary columns without prefractionation. Tryptic peptides from 4 µg cell lysates were directly injected onto the 100 µm i.d. monolithic silica-C18 column and an 8-h gradient was applied at 500 nL/min. Triplicate measurements were conducted and the merged results were searched against UniProt DB to identify peptides and proteins. The obtained results were filtered at 1% FDR thresholds by searching against the randomized decoy DB both at peptide and protein levels. This dataset with the PX complete submission format will be further used to generate a customized DB in this jPOST project.		
	species:	Homo sapiens	
Sample	sample type:	Cell Line	
	cell line:	aHDF1388-P9	
	# proteins:	3,439	
Statistics	# peptides:	23,628	
	# spectra:	57,242	
Download	DS87_1.tar		

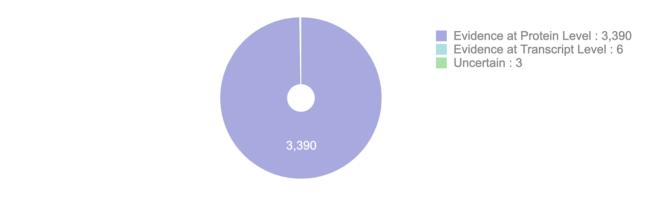
- データセットのメタデータがまとめられたテーブルが表示されます
- Project ID、Project title、Project descriptionはリポジトリに登録したときのものが表示されます
- Sampleの情報、統計情報、データをまとめてDLするリンクがあります

Chromosome Info.



- 同定されたタンパク質の染色体毎の数を表示しています
 - UniProt IDベースのカウントになるので、遺伝子数とは厳密には異なります

Protein Existence

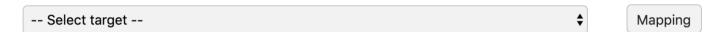


-- Show protein list -- \$

- Protein existenceのレベルの内訳を表示しています
 - 。 ヒトはneXtProtに基づいており、それ以外の生物種はUniProtのデータに基づいています
 - それぞれのタンパク質のリストを見ることができます

KEGG Pathway Mapping

2,849 proteins with KO (KEGG Orthology) 2,592 KOs

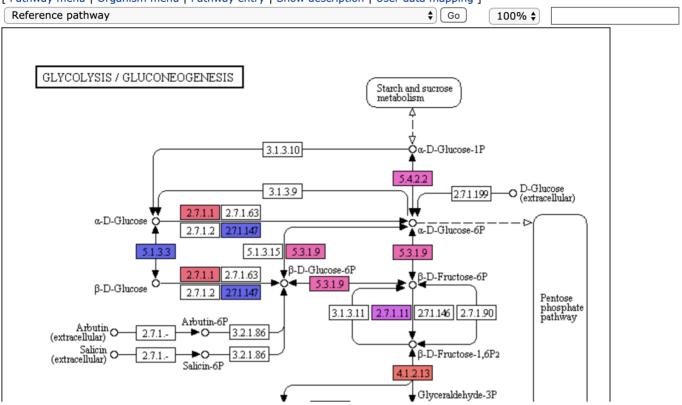


• データセットのタンパク質をKEGG Pathwayにマッピングすることができます

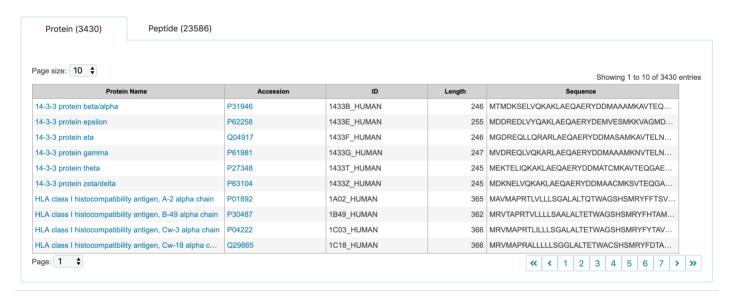
KEGG

Glycolysis / Gluconeogenesis - Reference pathway

[Pathway menu | Organism menu | Pathway entry | Show description | User data mapping]

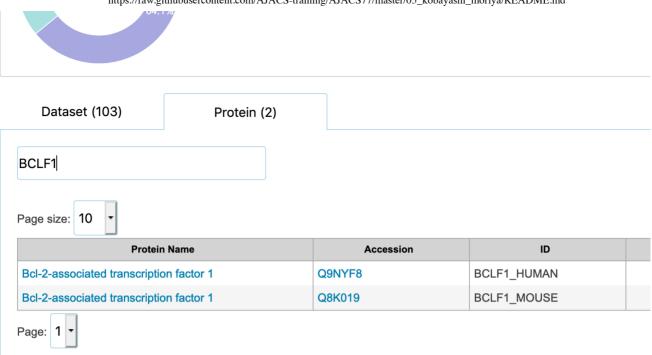


• 色はスペクトルカウントに基づいた色になっており、青が少なく、赤が多いことを意味しています



タンパク質をみてみよう

- ページー番上の"Search"からTopの検索画面に戻れます
- テーブルを"Dataset"から"Protein"に切り替えます
- 表示されるデータの都合が良いので、今回は"BCLF1"で検索します

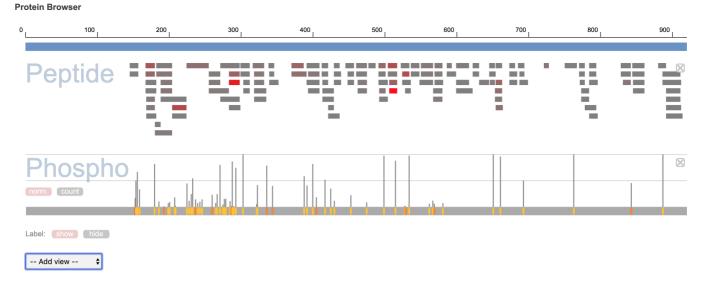


- ヒトとマウスでタンパク質が引っかかりました
- Protein nameをクリックするとタンパク質ページに以降します。今回はヒトのBCLF1を見てみましょう

Protein: Q9NYF8

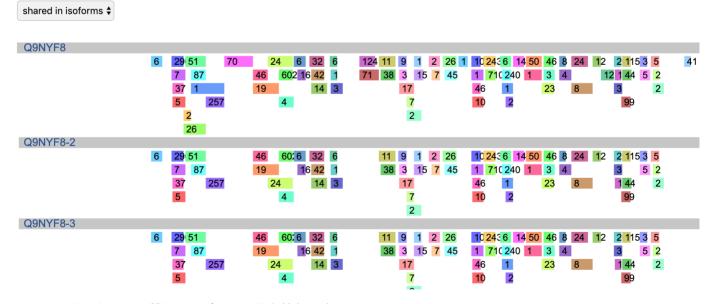
Protein Name	Bcl-2-associated transcription factor 1			
Protein ID	BCLF1_HUMAN			
Gene Name	BCLAF1			
Accession	Q9NYF8			
Length	920 aa			
Sequence	MGRSNSRSHSSRSKSRSQSSSRSRSRSHSRKKRYSSRSRSRTYSRSRSRDRMYSRDYRNDYRNDYRNDYRNRGMRRPYGYRGRGRGYYQGGGGRYHRGGYRPVWNRRHSRSPRRGRSRSPKRRSVSSQRS QEKQTKKAEGEPQEESPLKSKSQEEPKDTFEHDPSESIDEFNKSSATSGDIWPGLSAYDNSPRSPHSPSPIATPPSQSSSCSDAPMLSTVHSAKNTPSQHSHSIQHSPERSGSGSVGNGSSRYSF PDGGDQETAKTGKFLKRFTDEESRVFLLDRGNTRDKEASKEKGSEKGRAEGEWEDQEALDYFSDKESGKQKFNDSEGDDTEETEDYRQFRKSVLADQGKSFATASHRNTEEEGLKYKSKVSLKGM NSERITVKKETQSPEQVKSEKLKDLFDYSPPLHKNLDAREKSTFREESPLRIKMIASDSHRPEVKLKMAPVPLDDSNRPASLTKDRLLASTLVHSVKKEQEFRSIFDHIKLPQASKSTSESFIQF RQKSPEIHRRIDISPSTLRKHTRLAGEERVFKEENQKGDKKLRCDSADLRHDIDRRRKERSKERGDSKGSRESSGSRKQEKTPKDYKEYKSYKDDSKHKREQDHSRSSSSSASPSSPSSREEKES GRARGVFAGTNTGPNNSNTTFQKRPKEEEWDPEYTPKSKKYFLHDDRDDGVDYWAKRGRGRGTFQRGRFNFKKSGSSPKWTHDKYQGDGIVEDEEETMENNEEKKDRRKEEKE			
Location	Chromosome 6			
	# peptides:	92		
Statistics	# spectra:	4,069 54		
	# unique peptides (UniProt entry level): # unique peptides (gene name level):	89		
	GenelD: 9774			
for Abdolute Quantification	search in iMPAQT			

- タンパク質の情報テーブルを表示しています
- ヒトのタンパク質の場合iMPAQT へのリンクがあります



- タンパク質ブラウザを表示しています
 - スクロール操作で拡大縮小できます
- プルダウンメニューから幼児する情報を追加できます
 - Peptide: 検出されたペプチドのマッピング (Default)
 - 赤は同定数の多いペプチドを示しています
 - 。 Phospho site: リン酸化部位
 - 軸の長さは検出された量を、そのポジションをカバーしているペプチドの数で補正した割合を示しています
 - "count" ボタンをクリックすると実数に変わります
 - P-site linkage: リン酸化部位のペプチド上での共起情報
 - 。 UniProt annotation: UniProtに収録されている既知の修飾情報

Peptide Sharing



- isoform間、タンパク質間のペプチドの共有情報を表示しています
 - 。 同じ色のBoxが同一のペプチドになります

Sliceを作ってみてみよう

- Sliceとは、データベースからユーサの興味のあるデータセットを切り出した、データベースのサブセットです
- iPS細胞のデータセットでSliceを作ってみよう
 - 。 Topの検索ページで"iPS cell"でデータセットを検索します



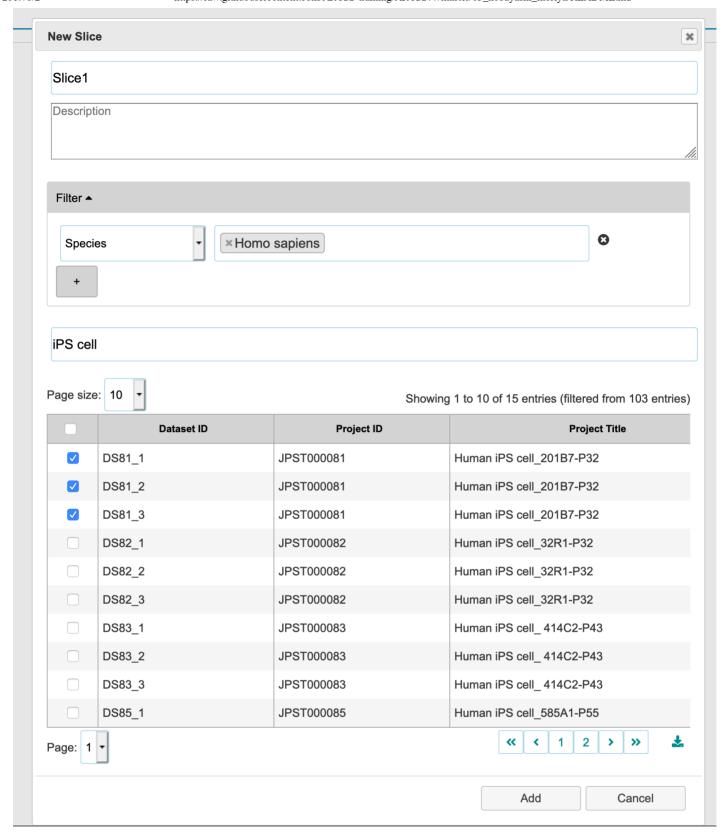
Dataset (15) Protein (6904)

iPS cell

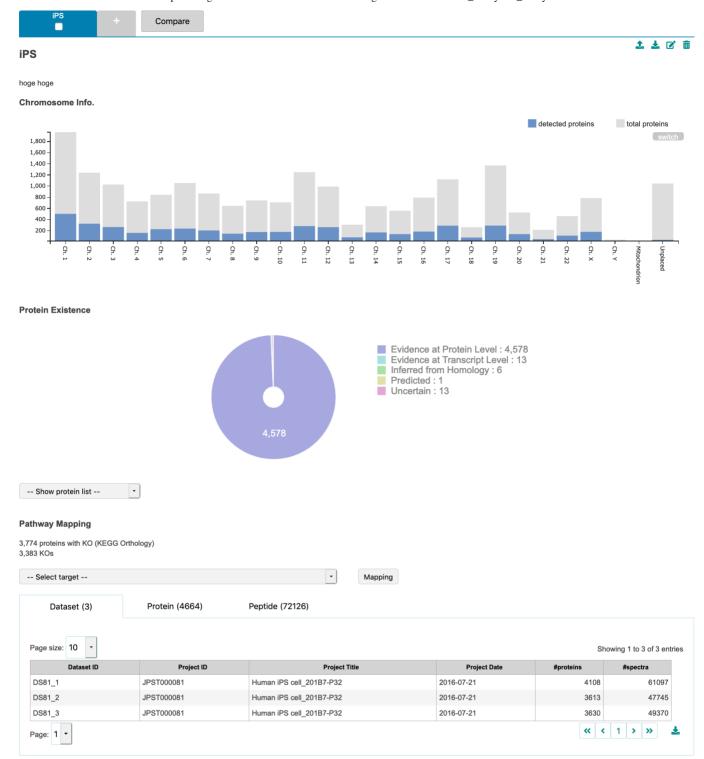
Page size: 10 🛊

Dataset ID	Project ID	Project Title
DS81_1	JPST000081	Human iPS cell_201B7-P32
DS81_2	JPST000081	Human iPS cell_201B7-P32
DS81_3	JPST000081	Human iPS cell_201B7-P32
DS82_1	JPST000082	Human iPS cell_32R1-P32

• テーブルの下にある"New Slice..."ボタンをクリックします



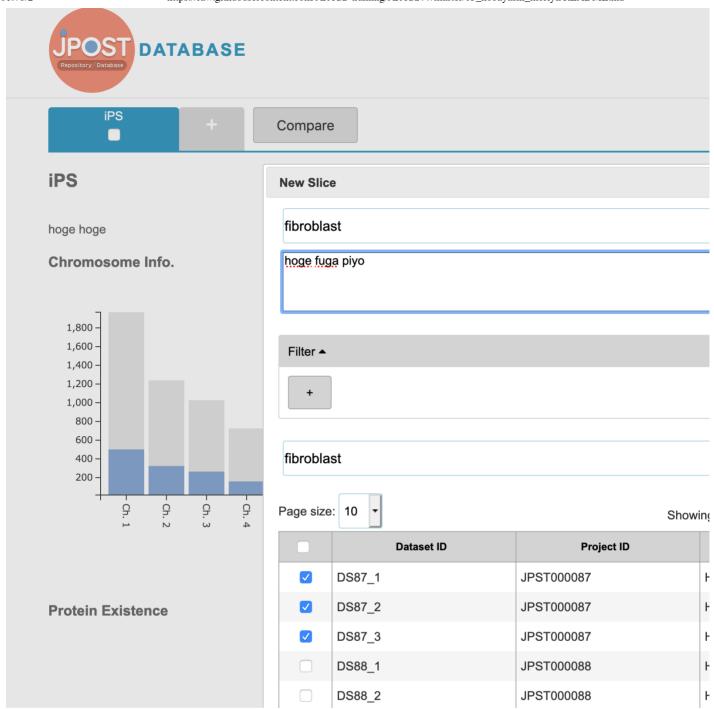
- Slice作成画面に移動します
 - 。 この画面でも絞り込み検索が可能です
 - わかりやすい名前をつけ、必要なら説明を入れましょう
- 今回はテーブルの上の3つDS81_1, DS81_2, DS81_3でSliceを作ります
 - 。 3つのチェックボックスにチェックを入れます
- "Add"ボタンをクリックすると、Sliceが作成されます



- 選択したデータセットをまとめた情報が表示されます
 - 見方はデータセット毎のページと同様です

Slice同士を比較してみよう

- iPOSTdbではSlice同士を比較する簡易な解析機能がついています
- もう一つ"fibroblast"でSliceを作成します
 - 。 Sliceページのタブに並んでる"+"マークからも新規Sliceが作成できます



- 2つのSliceを比較します
 - タブにあるチェックボックスをチェックして"Compare"ボタンをクリックします

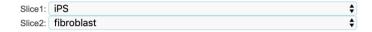




fibroblast

hoge fuga piyo

• 比較ページに移動します



Statistics

	slice	: iPS	- share	slice: fibroblast		
	total	unique	total		unique	
# datasets	3			3		
# proteins	4,684	1,450 3,234	4,618	1,384		
# peptides	33,837	13,661	20,176	37,078	16,902	

Differential Expression Analysis

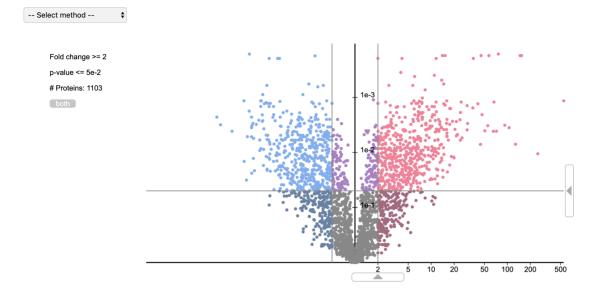
- The quantification is based on spectral counting.
- Some methods need at least 2 datasets in either slice.



- 統計情報が表示されます
- また、簡易的な変動解析をすることができます
 - 現時点では定量データをあまり収録していないので、スペクトルカウントを補正して半定量をしています
 - スペクトルカウントはタンパク質に紐付いたスペクトルの数のことです
 - 。 今回は"Empirical Bayes estimation"を使います
 - Wilcoxon rank sum testはサンプル数が多いときによく使われます
 - Empirical Bayes estimationは比較的少ないサンプル数でも比較が可能です
 - Fold change of the meanは統計処理はしないので 1 サンプルでも比べられます

Differential Expression Analysis

- The quantification is based on spectral counting.
- Some methods need at least 2 datasets in either slice



Page Size: 15 ▼

Showing 1 to 15 of 1103 entries

search protein

Protein name	Accession	ID	Fold change	log(fc)	p-value
Collagen alpha-3(VI) chain	P12111	CO6A3_HUMAN	547	9.1	1.16e-03
Peripherin	P41219	PERI_HUMAN	251	7.97	1.06e-02
Neuroblast differentiation-associated protein AHNAK	Q09666	AHNK_HUMAN	153	7.26	1.75e-04
Vimentin	P08670	VIME_HUMAN	147	7.2	1.75e-04
Calpain-2 catalytic subunit	P17655	CAN2_HUMAN	128	7	7.12e-03

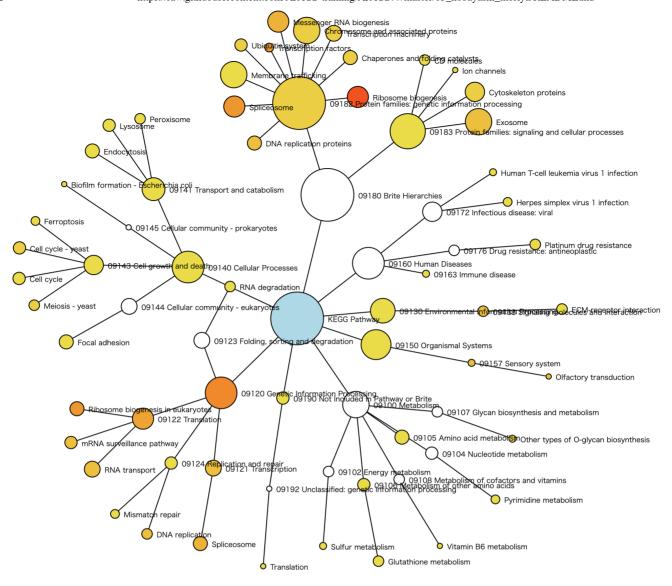
- Volcanoプロットがj表示されます
 - 各プロットがタンパク質になります
 - 。 横軸がFold changeを示し、縦軸はp-valueになっています
 - 左(青)が発現量が低下したタンパク質、右(赤)が上昇したタンパク質を示しています
 - 青と赤で示されたプロットが有意な変動が見られたタンパク質ということになり、下のテーブルにリストが表示されています
 - Thresholdはユーザがバーを移動させることで変えられます
 - 。 プロット左にある"both"ボタンをクリックすることで上昇したものだけ、下降したものだけを表示すること もできます
 - 。 Fold change of the meanの場合はヒストグラム風のプロットになります

Enrichment Analysis

• Protein set enrichment analysis for selected proteins in the upper plot and table.



- 選択した有意な変動の見られたタンパク質リストを用いて、エンリッチメント解析を行うことができます
 - 。 KEGG Pathway, GO, ChIP-Atlasなどを用いて解析ができます
 - 。 今回は"KEGG Pathway"のカテゴリでエンリッチメント解析をしてみましょう



- ネットワークグラフが表示されます
 - 。 各ノードがカテゴリを示しています
 - 。 ノードのサイズがカテゴリのタンパク質数を示しています
 - 白いノードはサイズの上限を設定しているので、色付きノードより大きく表示されません
 - 黄色からオレンジ色のノードはエンリッチしているカテゴリを意味しています
 - 色の濃いノードがとりエンリッチしています
- jPOSTdbはChIP-Altasと連携しており、ヒトをはじめ、いくつかの生物種ではjPOSTdbで変動解析した結果をChIP-Atlasの解析フォームを用いてエンリッチメント解析ができます

ChIP-Atlas - Enrichment Analysis

Tutorial movie -

Analyze your data with public ChIP-seq data.

